

ブレンドア

DTHシリーズ

取付け要領書

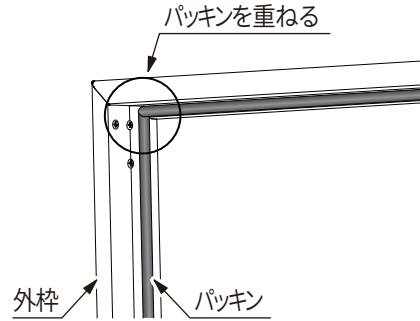
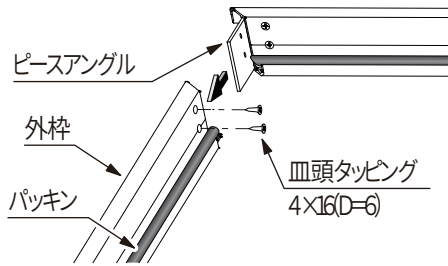
⚠ 注意事項

- 施工する前のドアや枠材は直射日光の当たらない場所へ保管して下さい。保管の際は、長時間の横積み状態はなるべく避けて下さい。ドアやパネルが反ってしまう恐れがあります。
- パネルの設置を行う場合には必ず2人以上で作業して下さい。
- 高所作業を行う場合には十分注意して作業して下さい。
- ドア、パネルに物を立て掛けたり、ドア、パネルと枠の間に物を入れたりしないでください。ケガをしたり、ドア、パネルに障害が発生する恐れがあります。
- 取手や金具類にぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険ですし、錠前が正常に機能しなくなる恐れがあります。
- 錠前は分解・改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組み立て直すことが出来なくなることがあります。
- デッドボルトを出したままドアの開閉をしないでください。デッドボルトの突起が身体に当たる危険があるばかりでなく、ストライクや枠を傷めます。
- ドアクローザーは、ドアを自動的に閉じるためのもので、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。季節の温度変化等により、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなるとケガをすることがあります。ドアの閉じる速度は、調整弁によりコントロールすることができますので、調整して下さい。
- ドアクローザーは分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組み立て直すことが出来なくなります。
- 金属ヘラやタワシなどで擦ると、表面のアルマイトが傷つき、腐食の原因になります。また、塩分・酸・アルカリなどが付着すると腐食の原因になりますので、すぐにふき取ってください。

03602-AKT-001-05
2022/02

工事手順について

1. 外枠の組み立て

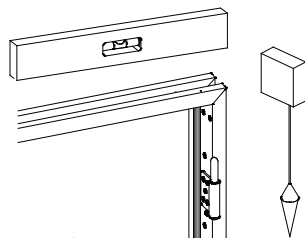


- 外枠コーナー部にピースアングルを差し込みます。トメ部に隙間が出来ないように皿頭タッピング 4×16 (D=6) で確実に固定してください。

- トメ部のパッキンは、片方のパッキンがもう片方のパッキンに重なる様にしてください。

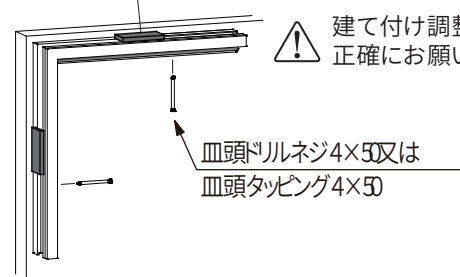
※ピースの下穴はネジを引っ張り込むよう若干斜めに入るようにあいています。一度斜めに打った後でまっすぐ打ち直すときれいに固定できます。

2. 開口部への取付け



- 外枠を開口部に納め、下げ振りで前後・左右のころびを、水準器等で水平を調整してください。

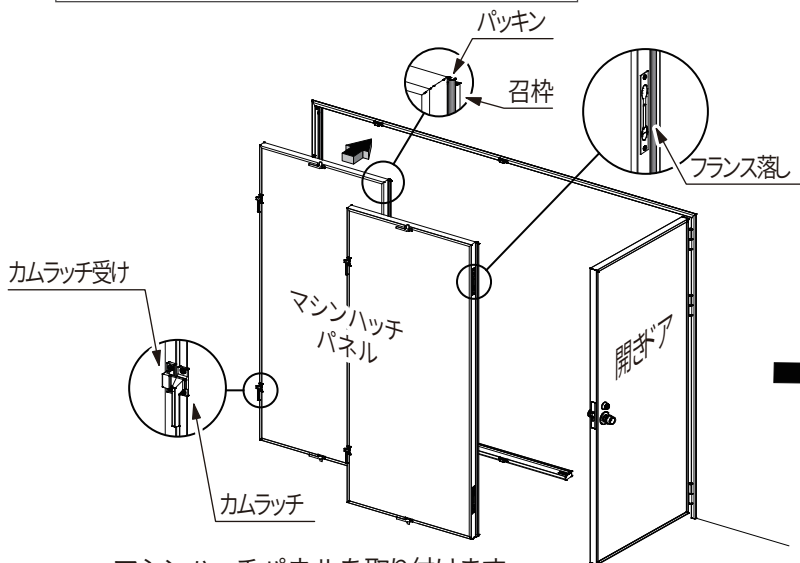
隙間にはライナーを入れてください。入れずに固定すると枠のねじれや変形が出ます。



⚠ 建て付け調整は正確をお願いします。

- 開口との隙間にライナーを入れて、皿ドリルネジ 4×50 又は皿頭タッピング 4×50 で固定してください。

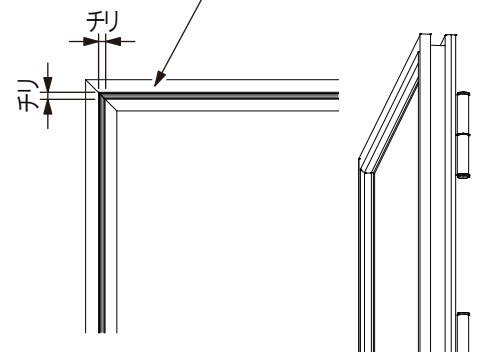
3. パネルの取付け・ドアの吊り込み



- マシンハッチパネルを取り付けます。パッキンがパネルにしっかり当たることを確認し、外枠にはめ込み、カムラッチとフラス落しで固定します。扉を 90°以上開いて丁番をセットし、吊り込みます。※4方枠の場合は、パネルは下側からはめ込んでください。

⚠ ドアの吊り込み作業は指を挟まないよう、注意して行なってください。

外枠と扉のチリを6mmに調整し、パッキンを密着させてください。

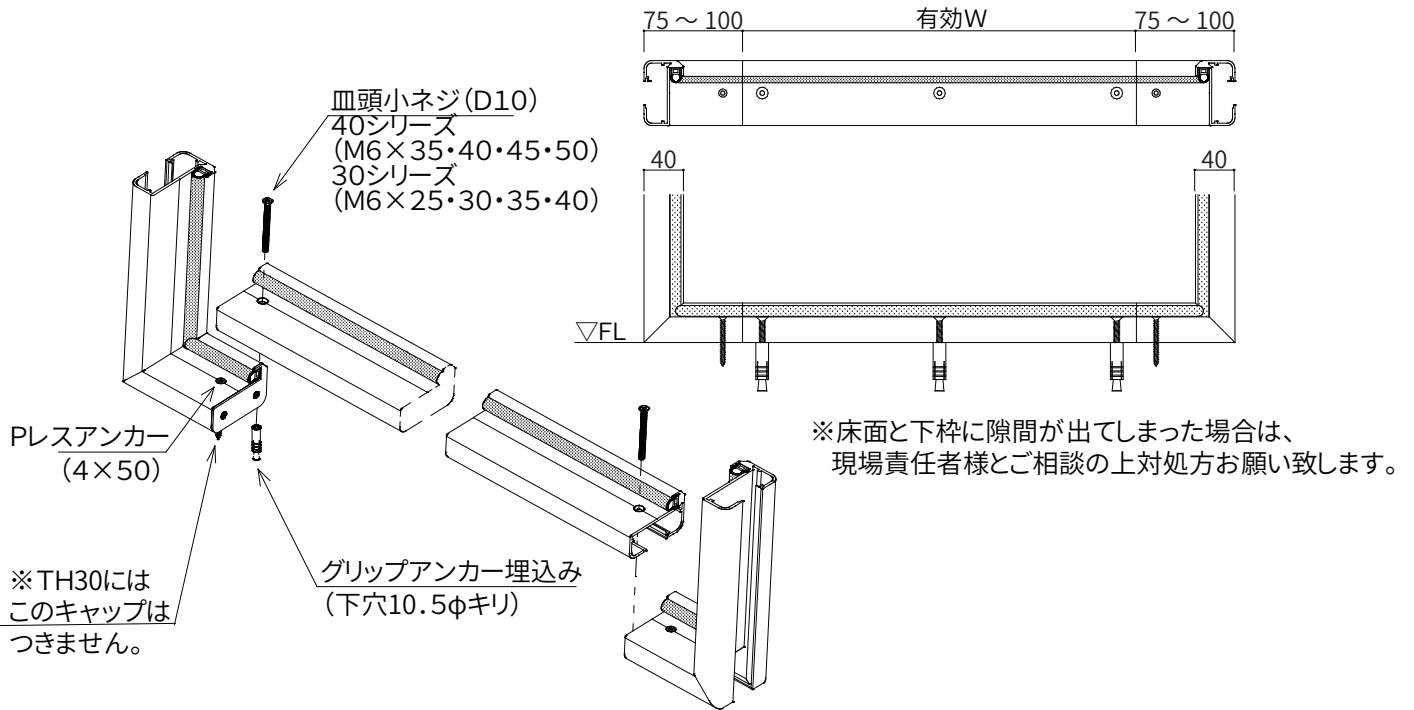


- 次に、扉を閉めてチリ・パッキンの密着を確認してください。チリ・パッキンの密着がおかしい場合には次のページの「丁番調整」を参考に調整してください。開口部の隙間はコーキングでシール処理してください。

⚠ チリの調整は正確をお願いします。ドアとパネル・外枠とのチリは6mmです。

工事手順について

4. 下枠取り外し式の場合の下枠取付け

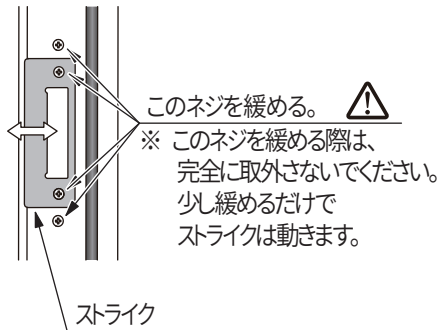


5. 調整

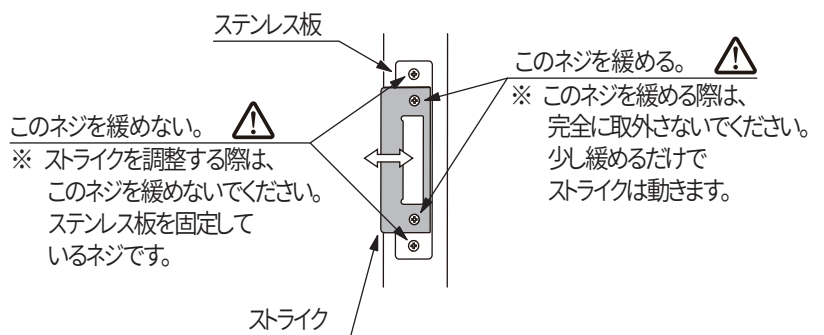
1) ストライクの調整

・ 図の箇所のネジを緩めて、ストライク・調整ローラーをスライドさせて調整する。

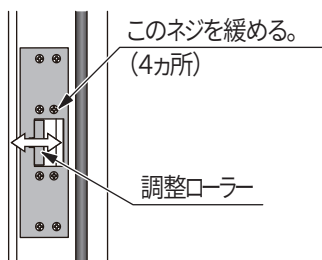
◎ レバーハンドル・丸ノブの時のストライク



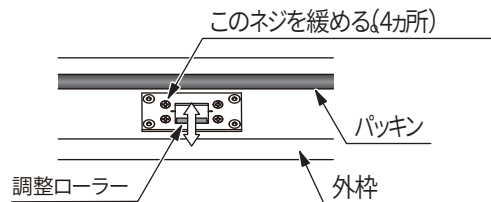
◎ ステンレス板にストライクが取付けてある時



◎ グレモンハンドルの時のストライク



◎ 上下の調整ローラー

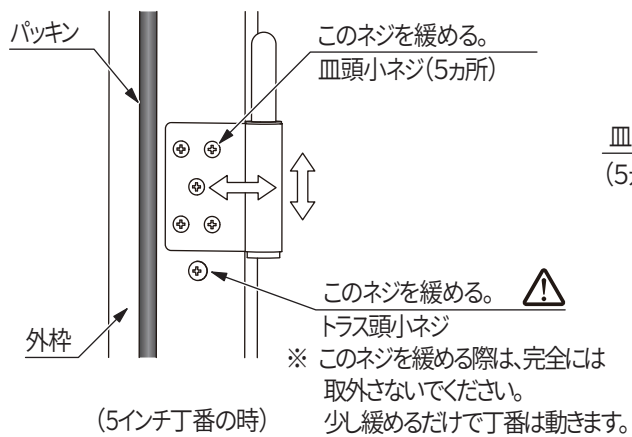


次ページへ続く

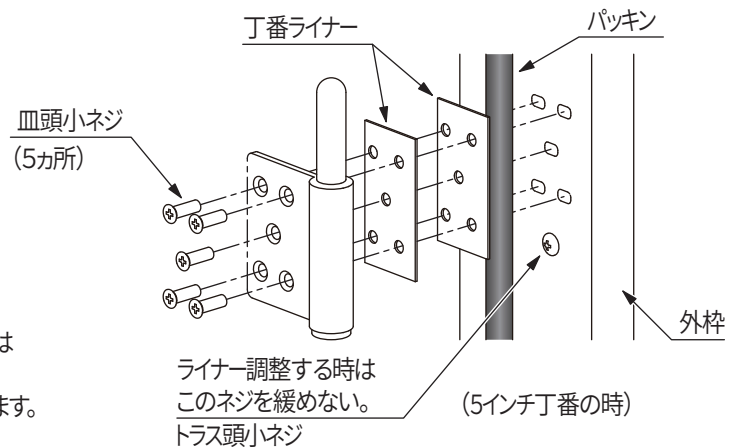
工事手順について

2) 丁番の調整・丁番ライナーの調整

- ・図の箇所のネジを緩めて丁番の位置を調整する。



- ・図の様に丁番を外して丁番ライナーの枚数を減らす、または枚数を増やして丁番ライナーの枚数を調節することでドアの垂れの調整が出来ます。



3) ズレゴムの調整 (ドア部3方枠ズレタイトの仕様)

- ・扉下部に付いているフラットバーの、図の箇所のネジを緩めて、ズレゴムを上下に動かし高さを調整する。

